

パワー・ハラスメント防止コース

パワハラの原因を最近の判例とともに理解し、 管理者としての職場での取り組み方について学びます。

本コースでは、社会問題化しているパワハラについて、多くの判例を紹介しながら、その実態について理解を深めていただき、取り組むにあたっての意識を高めることをねらいとしています。管理者自身が自職場の実態と、自分自身の言動を振り返ることで、職場環境改善へのきっかけをつかみ、管理者の役割としてパワハラ対策に取り組んでいただくことをねらいとしています。



<本コースのねらい>

- パワハラが社会問題化している背景とともに、今職場に求められている対策について解説します。
- パワハラを招く5つのパターンをもとに職場の状況をセルフチェック、管理者としての日々の言動を12項目でセルフチェックし、両方の視点で振り返ります。
- 管理者の役割として行うパワハラ対策の基本について理解していただきます。

<コースカリキュラム>

第1章 職場のパワー・ハラスメントの実態	1-1 社会問題化するパワハラ 1-2 問われる職場環境配慮義務 1-3 職場のパワハラの実態と類型
第2章 職場のパワー・ハラスメントを生み出す5つのパターン	2-1 職場のパワハラ度をチェックする パワハラ の5つのパターン 2-2 パターン1 「教育指導型」 2-3 パターン2 「職場環境型」 2-4 パターン3 「コミュニケーション不全型」 2-5 パターン4 「労働強化型」 2-6 パターン5 「経営環境型」
第3章 職場のパワー・ハラスメントをどう防ぐか	3-1 職場のパワハラの実態になりがちな上司のタイプ 3-2 管理者の役割－職場環境を改善する 3-3 解決へのプロセス

<概要>

受講対象者	管理者（新任・既任）およびその候補者、リーダー層
監修	●金子 雅臣 職場のハラスメント研究所 代表理事
仕様	●想定学習時間：2時間 ●最短実行時間：30分 ●テスト数：1（全10問、ランダム出題）